

Date 2018 年 12 月 19 日 (水) 18:00 ~ 21:00
(開場 17:30 / 懇親タイム 20:30~21:00)

Place 東京ミッドタウン日比谷 BASE Q

MENU

Anti pasti

新鮮な課題 4 種の盛り合わせ

課題にまつわる食を 4 つ食べていただき、
その後、その食にどんな課題があるのかをご紹介します。

Primo piatti

日本NPOセンターと食生活ラボが仕入れた50の課題シェア ～Bチームのファシリテーションを添えて～

日本NPOセンターの上田英司と三本裕子が、課題を一気にシェア。
電通「食生活ラボ」の大屋洋子も食のトレンドから、課題に切り込みます。
電通Bチームの倉成英俊がファシリテーターとしてそれらの課題を料理します。

Secondi piatti

会場全体で深める濃厚な議論

課題をもとに会場の全員で議論。新しいアイデアも歓迎。
プロジェクト化を目指します。

Cafe / Dolci

懇親の時間 ～異業種のマリアージュ～

ドリンクをご用意しております (有料)。
この場だけの新鮮な出会いをお楽しみください。

ありそうでなかった課題発見のシンクタンク「課題ラボ」。第2回のテーマは「食」です。今回トライするのは超体験型課題シェア。課題を五感で味わっていただくべく、まずは課題にまつわる「食」を、実際に食べていただき、そこから課題を掘り下げていきます。さらに 50 以上の課題を、日本 NPO センターが一気にシェア。特別ゲストとして、電通「食ラボ」も参加し、食のトレンドからも、課題に切り込みます。電通 B チームの倉成英俊がファシリテーターとしてそれらの課題を料理します。フードロスや孤食の問題はどうなってる? 生産者は減り続けているの? 都市農業の可能性は? 食育だけでなく、農育も必要になるらしい? 様々な角度から最前線の課題について深く知る 3 時間。解決に向けて何ができるか、会場にお越しになった皆さんとプロジェクト化へつなぐセッションも行いますのでみなさんぜひお越しください。

☐ 課題ラボとは?

「課題解決より課題発見」「良い問いが良い答えを生む」と言われるて久しいですが、実際に「課題発見」や「良い問い」を見つけるのは容易ではありません。一方で、日本には 5 万以上の NPO がおり、その現場は課題が集まる最前線でもあります。その最前線の課題をシェアして、新しい答えの出し方を、共に見つけたす場をつくろう。そんな考えから生まれたのが、課題発見のシンクタンク「課題ラボ」です。詳細は日本 NPO センターのウェブサイトにて。(<http://www.jnpoc.ne.jp/qadailab/>)

☐ プロフィール

●日本 NPO センター

1996 年設立。全国にある NPO 支援センターと連携・協力し、情報交流、人材開発、調査研究、提言などの活動を通じて、NPO の社会的基盤強化を図るとともに、民間非営利組織と企業・行政とを繋ぎ、パートナーシップの力で市民社会づくりに寄与することをめざしている。

●電通 B チーム

プラン B (=オルタナティブなアプローチ) を提供するチーム。「好奇心ファースト」を合言葉に、B 面 (=いきすぎた趣味や副業など) を持った特任リサーチャー 56 人がそれぞれの得意分野を 1 人 1 ジャンル常にリサーチ。様々なパートナーと、新商品や新サービス開発など多様なプロジェクトを立ち上げている。

●電通「食生活ラボ」

通称「食ラボ」。日本の食生活の「いま」を知り「これから」を考え共創していくオープン型ラボ。2010 年に発足し知見の蓄積とアップデートを重ねながら「食の課題解決」と「食による社会課題解決」に取り組んでいます。

定員：100 名

料金：10,000 円 (税別)

お申し込み：日本能率協会のサイトからお願いいたします。(<https://bit.ly/2qH308c>)

会場：東京ミッドタウン日比谷 BASE Q / 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-1-2 6F

お問い合わせ：特定非営利活動法人 日本 NPO センター (担当：三本) → qadailab@jnpoc.ne.jp



お申込みはコチラ